

重点課題

【課題1】 目的を意識して、中心となる語や文を見つけて要約すること。(設問二(四)) (通過率 27.9%) 国際宇宙ステーションの中での使われ方について書いているが、面ファスナーのよさを取り上げて書いていない誤答をしている児童が49%。

【課題2】 目的に応じ、文章と図表とを結び付けて必要な情報を見付けること。(設問二(三)) (通過率 44.2%) 資料の中の文章から「ヒントになったこと」は書けていたが、「面ファスナーのくっつく仕組み」が書けていない誤答をしている児童が35.6%。

重点課題に対応した改善指導内容及び方法 (授業)

【課題1】 ・文章全体を読んで要点を捉える力を付けるために、読書や新聞を読むことを推奨し、条件を出し、必要な語や文を見付けることができるようにする。発達段階に応じて、見出しを考えさせたり、文字数を制限しまとめたりする学習に取り組む。
 ・授業の中で、文章全体を捉えないと答えられない発問を工夫して行う。

【課題2】 ・目的に応じて、文章と図表などを結び付けて必要な情報を見付けるために、文章中に用いられている図表などが、文章のどの部分と結びつくのか話し合う活動を授業に取り入れ、読む力を付けていく。

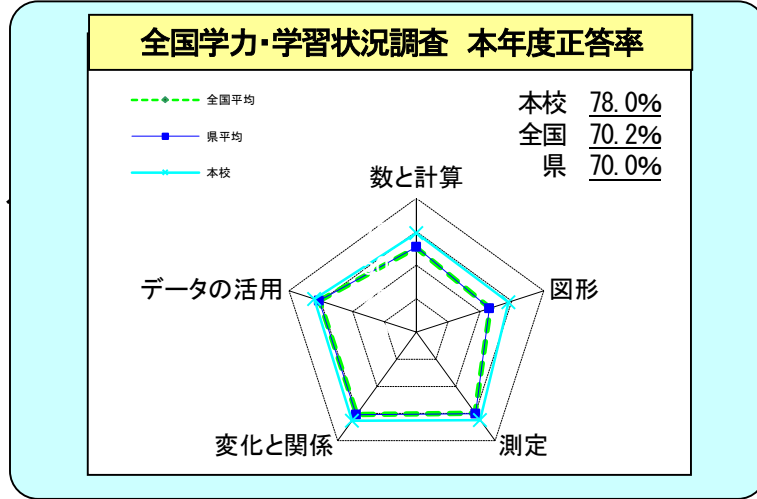
※ 小中一貫した取組については、複数の条件に合わせて、必要な情報を取捨選択し、要点を捉えてまとめることができるようにする。文章の構成を考え、自分の言葉で書く活動を国語科だけでなく、教育活動全体で行っていく。

【課題1】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法		6年R3 全国学力テストから重点課題		1～6年「読む」テスト	5年 R3 全国学力テストから重点課題	1～6年「読む」テスト	6年R3 全国学力テストから重点課題
目標値		6年70%		各学年期待得点	5年70%	各学年期待得点	6年75%
実施後数値		6年71%		1年105%, 2年110%, 3年112%, 4年108%, 5年105%, 6年103%	5年52%	1年116%, 2年110%, 3年120%, 4年93%, 5年114%, 6年109%	6年71%

【課題2】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法		6年R3 全国学力テストから重点課題		1～6年 学力テスト			6年R3 全国学力テストから重点課題
目標値		6年70%		80%			6年75%
実施後数値		6年71%		1年101%, 2年101%, 3年109%, 4年119%, 5年104%, 6年114%			6年71%

来年度に向けて

第1学年から第9学年まで読む力、まとめて書く力を高めていけるように、学年に合わせた授業改善を行っていく。学園として小中で協議・連携しながら、国語科だけでなく、教育活動全体で計画的に取り組んでいけるようにする。



重点課題

【課題1】二等辺三角形を組み合わせた平行四辺形の面積の求め方と答えを書く（設問2（3））B 図形（無解答率 3.8%）平行四辺形の面積を求める公式を用いているが、高さを 6.5 cm の二つ分と捉えている誤答をしている児童が 12.5%。

【課題2】帯グラフから、割合の違いが、一番大きい項目を選び、その項目と割合を書く。（設問3（4））D データの活用（無解答率 7.7%）「イ図書館に行く時間がない」について表す言葉や記号は書けているが、5年生・6年生の「あてはまる」と答えた人の割合を表す数が書けていない誤答をしている児童が 15.4%。

重点課題に対応した改善指導内容及び方法（授業）

- 【課題1】・複数の図形を組み合わせた平行四辺形について、図形を構成する要素などに着目し、図形の構成の仕方を捉えて、面積の求め方と答えを記述するために、求め方を筋道を立てて説明することができるようにする。
・発達段階に応じて、図形の構成要素について考察して立式したり説明したりする学習に取り組む。
- 【課題2】・帯グラフで表された複数のデータを比較し、示された特徴をもった項目とその割合を記述するために、出題の条件に即して、数量や図形、数量の関係を考察して見いだした事実を、確認したり説明したりする。

※ 小中一貫した取組については、複数のデータに着目し、その分布や傾向を読み取り考察して判断したりできるようにする。その際、数学的な表現を用いて論理的に説明できるようにする。また、具体的な日常事象と関連付けることにより、児童生徒の主体的な学びを促すようにする。

【課題1】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法		6年 R3 全国学力 テスト: 4年 面積・5年 面積	テスト: 1年 「かたちづくり」 2年 「三角形と四角形」・6年 「はたの大きさ」	1～6年 学力テスト	テスト: 3年 「割合」	5年 R3 全国学力 テストから重点課題	6年 R3 全国学力 テストから重点課題
目標値		6年 70% 各学年 期待得点	各学年 期待得点	80%	各学年 期待得点	70%	6年 75%
実施後数値		6年 72% 4年 102%, 5年 100%	1年 116%, 2年 107%, 6年 105%	1年 102%, 2年 105%, 3年 113%, 4年 107%, 5年 104%, 6年 102%	3年 117%	5年 61.3%	6年 75.8%

【課題2】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法		6年 R3 全国学力 テストから重点課題		1～6年 学力テスト		5年 R3 全国学力 テストから重点課題	6年 R3 全国学力 テストから重点課題
目標値		70%		80%		70%	6年 75%
実施後数値		6年 72%		1年 102%, 2年 105%, 3年 113%, 4年 107%, 5年 104%, 6年 102%		5年 62.7%	6年 81.1%

来年度に向けて

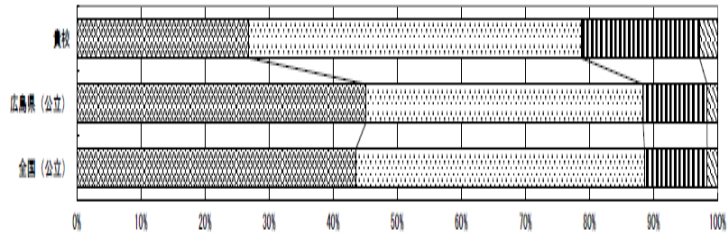
第1学年から第9学年までの系統立てた算数・数学科の課題に向け、学園として小中で協議・連携しながら、図形領域とデータの活用領域に関する授業改善を行っていき、児童の主体的な学びを促していく。

質問紙調査（全国学力・学習状況調査：児童質問紙調査）（児童生徒学習意識等調査：児童質問紙調査）

(1) 生活・学習

人が困っているときは、進んで助けていますか。

□1. 当てはまる □2. どちらかといえば、当てはまる □3. どちらかといえば、当てはまらない □4. 当てはまらない ■その他 □無回答

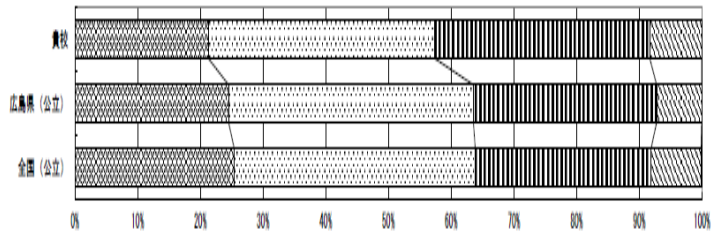


	児童の回答についての課題（現状値）	今後の具体的な取組の内容	学年	目標値	検証方法	検証時期	実施後数値
全国・学習意識等	「人が困っているときは、進んで助けていますか。」という質問に肯定的に答えている児童は、78.8%である。	<ul style="list-style-type: none"> ・学校で、人に助けてもらったうれしさや、人を助けることができた充実感を共有できる場をつくり、進んで助け合える雰囲気をつくる。 ・家庭で、手伝いや仕事をする機会を増やし、感謝されたり人のために行動する気持ちよさを味わったりする経験を重ねることができるように働きかける。 	5年 6年	80%	児童アンケート	2月	5年 94.0% 6年 82.4%

(2) 教科

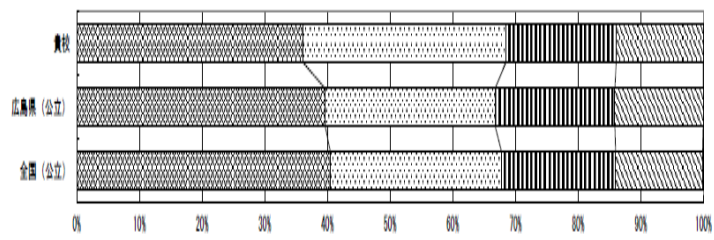
国語の授業では、目的に応じて、自分の考えを話したり必要に応じて質問したりしていますか。

□1. 当てはまる □2. どちらかといえば、当てはまる □3. どちらかといえば、当てはまらない □4. 当てはまらない ■その他 □無回答



算数の勉強は好きですか。

□1. 当てはまる □2. どちらかといえば、当てはまる □3. どちらかといえば、当てはまらない □4. 当てはまらない ■その他 □無回答



	児童の回答についての課題（現状値）	授業改善の方向性や具体的な取組	学年	目標値	検証方法	検証時期	実施後数値
全国・学習意識等	「国語の授業では、目的に応じて、自分の考えを話したり必要に応じて質問したりしていますか。」という質問に肯定的に答えている児童は、57.4%である。	<ul style="list-style-type: none"> ・発表させる際は、目的に応じた答え方になっているかを常に意識させ、適切でない場合は言い換えさせる。 ・分からないことはそのままにせず、質問するように促し、質問の仕方の例を積極的に示す。 	5年 6年	60%	児童アンケート	2月	5年 73.5% 6年 63.6%
全国・学習意識等	「算数の勉強は好きですか。」という質問に肯定的に答えている児童は、68.5%である。	<ul style="list-style-type: none"> ・絵や図や動画などを効果的に使い、分かりやすい授業を行うことで、苦手意識をなくす。 ・実際に生活の役に立つことが実感できるように、生活と結び付けて学習できるようにする。 	5年 6年	70%	児童アンケート	2月	5年 72.3% 6年 78.8%